

ウリアデック® WEB講演会

ご自宅や病院、診療所などから、インターネットを通じて参加いただける講演会です。

生活習慣病の治療標的としての尿酸産生酵素

琉球大学 大学院医学研究科
内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座(第二内科)
教授

益崎 裕章 先生



日時

ライブ
配信

2018年1月17日(水)

第1回 ▶ 19:00~19:30 第2回 ▶ 19:45~20:15

※第1回と第2回は同じ内容の講演です。

再配信

2018年1月23日(火)

第1回 ▶ 12:30~13:00 第2回 ▶ 13:15~13:45

抄録

腎臓病や肥満症、糖尿病における高尿酸血症の病態的意義が注目されている。従来、高尿酸血症は主に痛風関節炎の予防のために治療されてきた。しかし、病態解明が進むにつれ、その治療意義の高まりと治療目的の広がりを見せている。

尿酸を産生するキサンチン酸化還元酵素(XOR)は生体内に広く分布しており、生体で産み出される活性酸素の主要な源の一つである。したがって、XOR阻害剤は血清尿酸値を下げるとともに、活性酸素の産生を抑制する。XORは生活習慣病の様々な病態で活性化し、臓器障害や血管機能の悪化に寄与すると考えられることから、その活性阻害の意義は極めて大きい。

- ライブ配信におきまして、講演最後にはご参加いただいた先生方よりインターネットを介して質問し、益崎先生にお答えいただくお時間がございます。

(ご講演25分、質疑応答5分を予定)

主催 株式会社三和化学研究所